

千葉県脊損データベースを用いた疫学的調査

2021年4月1日から2025年3月31日までに当院に脊髄損傷のために入院でのリハビリテーション治療を受けた方々

研究協力をお願い

当科では「千葉県脊損データベースを用いた疫学的調査」という研究を行います。この研究は、他の研究機関との共同研究として、2021年4月1日より2025年3月31日までに日本医科大学千葉北総病院リハビリテーション科にて、脊髄損傷の入院治療のためにリハビリテーション治療を受けられた患者さんの運動機能や日常生活動作能力を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。本調査で用いた情報は、共同研究機関へ提供させていただきます。直接のご同意はいただきず、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：千葉県脊損データベースを用いた疫学的調査

研究期間：2021年4月1日～2025年3月31日

当院における研究責任者：日本医科大学千葉北総病院 リハビリテーション科 鈴木 光司

(2) 研究の意義、目的について

近年、転倒などによる軽微な外傷力に伴う脊髄損傷(主に頸髄損傷)が増加し、専門病棟に限らず回復期リハビリ病院などに入院するケースが増えている。脊損を受け入れる施設が多岐にわたるため全県的な支援体制の構築が臨まれる。その基礎データとなる情報を一元的に集約することを目的に千葉県版脊損データベース(DB)を構築し、多施設データを集約、分析する。データの分析・発信により県内における脊髄損傷支援の質的改善や支援体制の立案に繋げる基礎データとする。

(3) 研究の方法について(研究に用いる試料・情報の種類および外部機関への提供について)

2021年4月1日より2025年3月31日までに日本医科大学千葉北総病院リハビリテーション科にて入院でのリハビリテーション治療を受けられた脊髄損傷の患者さんについて、以下の試料・情報を収集、使用します。

試料：なし

情報：年齢、性別、在院日数、家庭情報、身体機能評価、日常生活能力

これらの試料・情報は、共同研究機関である千葉県千葉リハビリテーションセンターへ提供されます。これらの試料・情報は、セキュリティ管理されたウェブ上に入力を行い、研究グループが管理するサーバーへ電子的に収集されます。これらの情報は個人が特定されないよう匿名化された状態で登録されます。各研究機関から収集された試料・情報を用いて、研究グループが統計学的に解析し、千葉県内における脊髄損傷の方々の身体機能や生活動作能力の改善度、退院先、社会資源の利用状況などについての検討を行います。

(4) 共同研究機関(試料・情報を利用する者の範囲および試料・情報の管理について責任を有する者)

研究代表機関：千葉県千葉リハビリテーションセンター

研究全体の責任者：千葉県千葉リハビリテーションセンター リハビリテーション治療部 村山 尊司

その他の共同研究機関：

(5) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針(文部科学省・厚生労働省)」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(6) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

(7) 当院における問い合わせ等の連絡先

日本医科大学千葉北総病院 リハビリテーション科 鈴木 光司
〒270-1694 千葉県印西市鎌苅 1715
電話番号 : 0476-99-1111 (代表) 内線 : 5860
メールアドレス : nms_hokusohrinri.group@nms.ac.jp